

整備された伊上漁港

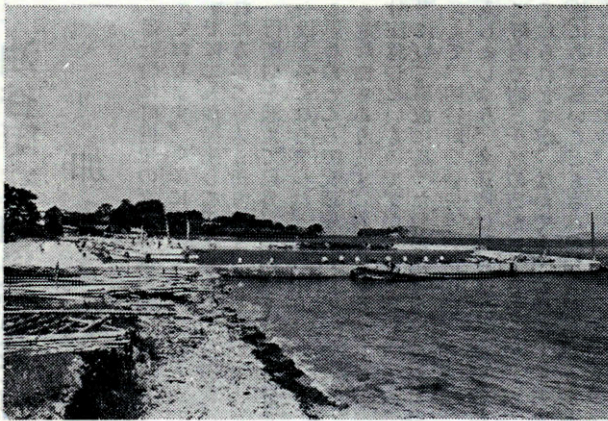
機能施設・港内浚渫竣工

従来、伊上漁港は泉川の流域にあって、河口を利用した漁港であったため、土砂流入により施設の利用価値がなくなり、また泉川左岸となっていた西防波堤が海方向に対して開放的であり、強風時の漁船泊地利用が全く不可能という状況であった。

昭和四〇年に三〇〇万円をかけて、泉川の流水箇所を避けて西方に、天端高二・三米と二米のそれぞれ長さ九〇米ある二つの防波堤を完成し、一応漁港としての機能を果たすようになった。しかし、

近年來漁場が湾内に限らず、外海にまで及ぶようになると、必然的に漁船の高性能化、大型化が計られ、それに伴い干潮時には港内が浅くなり、漁船が海底に触れ、移動もできない現状となり、また物揚場及び船曳場の施設もなく、漁港としての機能が不十分であるので、昭和四八年度に一、三〇〇万円の経費で物揚場四〇米、船曳場九八〇立方米を施工した。

これかねてから地元の念願であった伊上漁港が完成、過る四月一三日盛大に竣工を祝福した。



納税案内

町・県民税 一期 六月末日
国民健康保険料 一期 六月末日

個人の住民税(町・県民税)の所得控除額を引上げ

地方税法の一部が改正され町県民税の課税の計算となる所得控除額が、次のように改正されました

◇区分 四九年度 四八年度

基礎控除 一八万円 一六万円

配偶者^{一人につき} 一八万円 一五万円

扶養^{二人につき} 一四万円 一二万円

障害者^{二人につき} 一三万円 一二万円

(通常の障害者 一三万円 一二万円)

特別障害者 一六万円 一四万円

老年者控除 一三万円 一二万円

寡婦控除 一三万円 一二万円

勤労学生^{一人につき} 一三万円 一二万円

障害者等の非課税限度額 五〇万円 四三万円

事業専従者控除 二〇万円 一七万円

◇住民税は、すべての住民の日常生活に結びついた行政サービスをする経費で、多くの住民が応分の負担をするものですから、納期限内に、進んで自主納税をいたしましょう。

町内文芸

油谷短歌会

敷石に無雑作に散る柿花のいまだ鮮し薄黄なる色 油谷志津夫

ひおうぎの厚みもつ葉の並み立ちて湾よりの風剣先ふるふ 岡林 啓一

卵の花のほそき小枝にいつぱいに白さをのせて緑と戦う 田中 大成

いさぎよく卵の花散れり忠魂と刻める文字もかなしみのごと 高山 章介

野牡丹の芽立ち著しも次孫等のはにに返らむとあやぶみ植ふしが 天野白水郎

降誕会白き手合はせ菩提心餅拾うは現世の黒き手 岡村ツユ子

小供等のはずむ言葉のをせ終へて修学旅行へバス踏らてゆく 松本 一夫

油谷俳壇

課題「牡丹」

筆目の正しき庭や牡丹咲く 中原 典女

牡丹見や自慢話に茶も冷えて 岡村 斗水

白牡丹活けて再嫁の夢捨てず 高村 桃司

我が宿を富貴に昂めて緋の牡丹 高山 木舟

牡丹の翔ちつぐ蝶をよせつけず 蘭 添水

句碑生る佳き日天皇誕生日 林 黙水

掌の皴に染みし田洪や農繁期 岡林 黎村

事務も馴れり舎の窓に風かほる 吉村 節子

川柳

子どもの日あわなくなりし服や靴 阿部 友行

母の手で母の日祝ふ夕餉かな

やりくりを質屋がほめて得意なり 平川 三照

汐吹の客もたまげるホラを吹き



季節の話題

つゆ・健康

十一日は暦の上で「入梅」といいます。つゆはその年によって早い遅いがありますが、だいたいこの日の前後に梅雨期にはいります。つゆというのは、梅の実の熟するころ降るので、梅雨と書きますが「さみだれ」というのは旧暦の五月に降る雨という意味から五月雨と書かれ、結局「つゆ」も「さみだれ」も同じ雨のことを指しているといわれています。また、このころ物にカビが生えやすいので、黴雨ともいいます。

気象的には、太陽が黄経八〇度に達する日を入梅としています。必ずこの日からつゆが始まるというものではなく、北海道ではつゆのないのが普通で、本州でも七月にはいつてから現われることもあります。

つゆどきは毎日じめじめととうとうしい日がつづき、物がみなカビくさく、高温と多湿に悩まされます。こうした中で、とくに台所の衛生は、つゆどきの健康を守る決定的なポイントとなります。調理前の手の消毒、食器や台所用品の清潔は当りまえのことですが、ふき掃除には逆性石けんを使うほか、食器類は必ず熱湯消毒を忘れないでください。とくに、まないた、しゃもじ、ざる、たわしなどはいつもぬれているようですが使用後は乾かしておきたいものです。こうした心づかいが、食中毒や各種の病原菌の侵入を防ぐことになりす。